



横浜市瀬谷区二ツ橋公園及び瀬谷区総合庁舎敷地外構

株式会社環境デザイン研究所 仙田 満・斉藤 義・佐藤文昭・藤井公平

株式会社 NTT ファシリティーズ 前田 章・石川弥生・宮野隆行・木村佐知子

□ まちに開かれた公園と庁舎

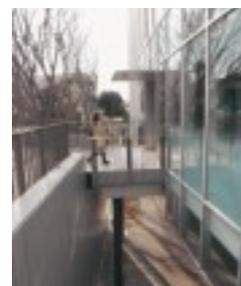
本プロジェクトは横浜市のPFI事業であり、「区民のためのもり、杜の庁舎」をテーマとした、都市公園と総合庁舎を一体とした開発計画である。庁舎は区役所・公会堂・消防署等で構成され、旧公園の東半分と地下駐車場の上部を連続した公園として整備した。従前の建物を使用しながら段階的に整備・解体が行われ、最終的には従前の都市公園と庁舎敷地が90°回転し、公園のオープンスペースと緑がまちにひらき、その背後に庁舎が建つという新しい景観を創出した。

□ 豊かな緑の保全・継承

旧公園には高さ10mを超えるケヤキ・サクラ・イチョウなどの大径木が多数存在し、これらを極力保全・活用しながら四季の変化に富んだランドスケープを創出した。また瀬谷区の花で旧公園の特色でもあったアジサイをなるべく活用し、新植も加えてあじさいの小苑としてリニューアルした。これにより瀬谷区を象徴する「豊かな緑空間」を受け継ぐと共に、庁舎との景観・環境調和や生物多様性にも配慮し、誰もが気軽に立ち寄り、安らぎとのおいを得られる公園を創出した。



公園から庁舎2階へのアプローチ



庁舎2階入口



公会堂南側



杜の庁舎を演出する保存樹木



庁舎正面のクスノキ



ストライプパターンのエントランス広場

作品概要

作品名：横浜市瀬谷区ニツ橋公園及び瀬谷区総合庁舎敷地外構
 所在地：横浜市瀬谷区ニツ橋町190
 発注：横浜市及びグリーンファシリティーズ瀬谷株式会社
 設計：株式会社環境デザイン研究所（ニツ橋公園）
 共同設計：株式会社 NTT ファシリティーズ（庁舎外構）
 監理：NTT ファシリティーズ・環境デザイン研究所設計・工事監理共同企業体
 施工：鹿島建設株式会社
 設計期間：基本設計：平成20年9月～平成21年3月
 実施設計：平成21年4月～平成21年12月
 施工期間：平成22年1月～平成25年3月
 規模：横浜市瀬谷区ニツ橋公園：6,026 m²
 横浜市瀬谷区総合庁舎外構整備：3,367 m²
 主要施設：ニツ橋公園：自由広場、遊具広場、トイレ、園路
 瀬谷区総合庁舎外構：車寄せ、駐輪場、園路・広場

作品評

この作品は、区役所+消防署+公会堂といった総合庁舎建て替えに伴う屋外空間を、都市公園と一体化して整備したものである。庁舎建て替えという業務の性格上、区役所としての機能を保持したまま移転してゆく過程では、成果には表れない多大な知恵と工夫があったものと推察される。加えて、新設する駐車場の上部に公園空間を配置したり、土地の記憶を残す大径木や、市民に親しまれていたアジサイ（区の花）を積極的に移植活用するなど、まさに建築設計とランドスケープが一体となり、基本設計から工事監理まで一貫して行わなければ不可能な現場であったと考えられる。

説明資料は、こうした難工事の様子を段階的に示して解りやすく解説している。庁舎と外構である公園部分とのレベルも、調整が行き届き、緑豊かで快適な空間が創出されている点に評価が集まった。

□ 性格の異なる2つの広場

公園は南側の「遊具広場」と北側の「自由広場」で構成され、相互を緩やかな斜面や回遊園路で結び一体的な利用を可能としている。遊具広場はケヤキ・イチョウなどの既存の大木を現状位置に保存しながら円形のオープンスペースやオリジナル遊具を整備し、緑豊かなあそび・休憩空間を創出した。自由広場は地下駐車場の上部に新たに設けられ、開放的な芝生広場と周辺の緑地・休憩スペースで構成される。2つの広場の間を庁舎2階へのアプローチが象徴的に貫いている。

□ 統一感のある庁舎外構

公園と庁舎は自由な行き来と一体的な利用を前提とするため、分かりやすい動線や統一感のあるデザインに配慮した。公園と庁舎の境界沿いに「とおり空間」を設け、明快な南北軸の動線を構成した。旧庁舎正面のクスノキの大木をシンボルツリーとして保存すると共に、四季の彩りをテーマとした植栽やアジサイの移植活用、カラフルなインターロッキングのストライプパターンなどは公園と共通としながら、新しい建築にふさわしい整然としたデザインを心がけた。



イベントにも使える芝生の自由広場



年齢に合わせて遊べる遊具広場



ストライプの舗装パターン

あじさいの小苑

南北軸のとおり空間

整然としたデザインのエントランス広場